

阪神大震災で両親を亡くした少年が死と向き合っていく

蓬萊橋〔岡山市〕

昭和16年に架橋された蓬萊橋は幅員が狭かったため、大型バスの出入りが難しく、以前から改善を要望する声も高かった。

橋を管理する岡山市では後樂園築庭300年を契機に、平成10年（1998）から橋の架替え工事に着手、同11年3月、橋を拡幅し車道と歩道を分離した橋が完成した。これにより西側にあった歩行者と自転車専用の橋は、この新橋に一本化された。

『岡山後樂園史』岡山県より



2021年6月撮影

桜並木の土手を抜けたところに、最初の橋があった。日向さんに言われた通りに、その橋を渡りながら、目に止まった欄干の文字を声に出した。

蓬萊橋よ、蓬萊橋
橋を渡って川沿いに
橋を渡って川沿いに
ぼくは歌うようにリズムをとって言った。

鶴見橋〔岡山市〕

昭和5年の陸軍特別大演習への昭和天皇の行幸に合わせて、同年5月1日起工、10月30日竣工。後樂園の入口なので、意匠は十分に考慮し、高欄はコンクリートの台石上に木曾御料林尾州檜材生地を使い、古典的な藤原式擬宝珠が付けられた。檜造りの高欄は長年の風雨でいたみ、架橋から20年を経た昭和24年頃にコンクリート製になった。さらにその部材も傷みが目立つようになり、昭和52年（1977）に木目模様の特殊塗装が施された。

『岡山後樂園史』岡山県より



2021年6月撮影

すぐに次の橋が見えた。なに、鶴見橋、ちよっと狭い橋だな。

鶴見橋よ、鶴見橋
橋を渡って川沿いに
橋を渡って川沿いに